

大阪府下の自然と生き物の関係



メダカ
Oryzias latipes

スジゲンゴロウ
Hydaticus satoi



大阪公立大学
平井 規央

大阪の自然

狭いながら、大阪にもさまざまな生態系がある。



農耕地



里山林



植林地



市街地



都市公園



河川

森林、農耕地、市街地、河川、池沼、干潟、海浜、海域など、さまざまなタイプの生態系があり、8,700種以上の野生動植物が記録されている。

大阪府の生物多様性

2000年「大阪府野生生物目録」で**8,700種**以上の動植物が記録
大阪府レッドデータブック「大阪府における保護上重要な野生生物」

2014年「大阪府レッドリスト2014」

「哺乳類」17種、「鳥類」82種、「爬虫類」7種、
「両生類」12種、「汽水・淡水魚類」49種、「昆虫類」405種、「クモ類」
20種、「陸産貝類」28種、「淡水産貝類」31種、「海岸生物(無脊椎動物及び藻類)」179種、
「その他淡水産無脊椎動物」4種、「維管束植物」448種、「コケ植物」
143種、「菌類」60種

計**1,485種**を選定

大阪府レッドデータリストに掲載されている昆虫の性格

表 1. 大阪府2000年, 2013年版レッドリストにおける目別に見た昆虫類の種数（カッコ内は絶滅種数）とその増加率.

	2000年版	2014年版	増加率%
コウチュウ目	74 (6)	182 (14)	246
チョウ目	52 (2)	90 (3)	173
トンボ目	28 (2)	50 (2)	179
バッタ目	14 (1)	19 (2)	136
カメムシ目	10	27 (1)	270
カマキリ目	2	2	100
ゴキブリ目	1	3	300
ナナフシ目	1	1	100
ハサミムシ目	1	2	200
アミメカゲロウ目	1	11	1100
ハエ目	1	2	200
ハチ目	1	8	800
カゲロウ目	0	1	—
ガロアムシ目	0	1	—
カワゲラ目	0	2	—
シリアゲムシ目	0	1	—
トビケラ目	0	5	—
合計	186	405	218

平井, 2014より

大阪府レッドデータブックに掲載されている昆虫の性格

表 2. 大阪府2000年, 2013年版レッドリストにおける環境別に見た昆虫類の種数 (%) とその増加率.

	2000年版	2014年版	増加率 (%)
河川	11 (5.9)	23 (5.7)	209
湿地	39 (21.0)	115 (28.4)	295
河川敷・海浜	10 (5.4)	31 (7.7)	310
森林	82 (44.1)	178 (44.0)	217
草原	37 (19.9)	46 (11.4)	124
その他	7 (3.8)	12 (3.0)	171
合計	186 (100)	405 (100)	218

大阪から消えてしまった動物たち



スジゲンゴロウ

環境省：絶滅種

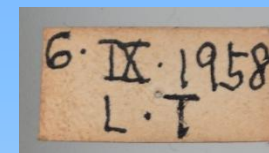


1958年8月25日



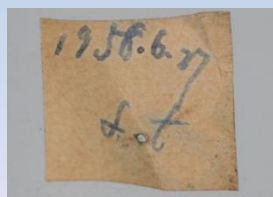
マルガタゲンゴロウ

環境省：絶滅危惧Ⅱ類



コガタガムシ

環境省：絶滅危惧Ⅱ類



採集地はすべて黒山村(大阪, 河内)
: 現在の大阪府堺市美原区北余部
採集者はすべて村田 満さんです。

大阪で発見された新種の昆虫



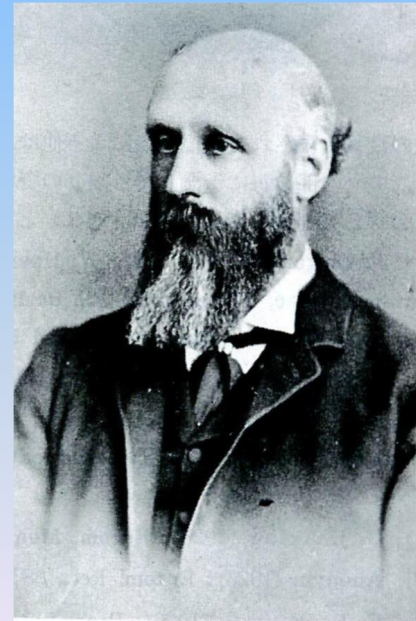
ルイスハンミョウ

Cicindela lewisi Bates, 1873

1870年ごろ、ジョージ・ルイスが堺市浜寺で採集した標本に基づいてベーツが記載



撮影: 松本吏樹郎



ジョージ・ルイス

大阪から消えてしまった動物たち



カワラバッタ

環境省：掲載なし



カワラゴミムシ

環境省：掲載なし

50年位前まで大和川支流の石川河川敷に生息

シルビアシジミ (シジミチョウ科)

分布: 本州・四国・九州
(種子島以北)・韓国
丈の低い草地に生息



♂

♀

前翅長: 約1 cm



ミヤコグサで吸蜜するシルビアシジミ



ミヤコグサに産み付けられた卵

大阪伊丹空港で絶滅危惧種の シルビアシジミが多数生息

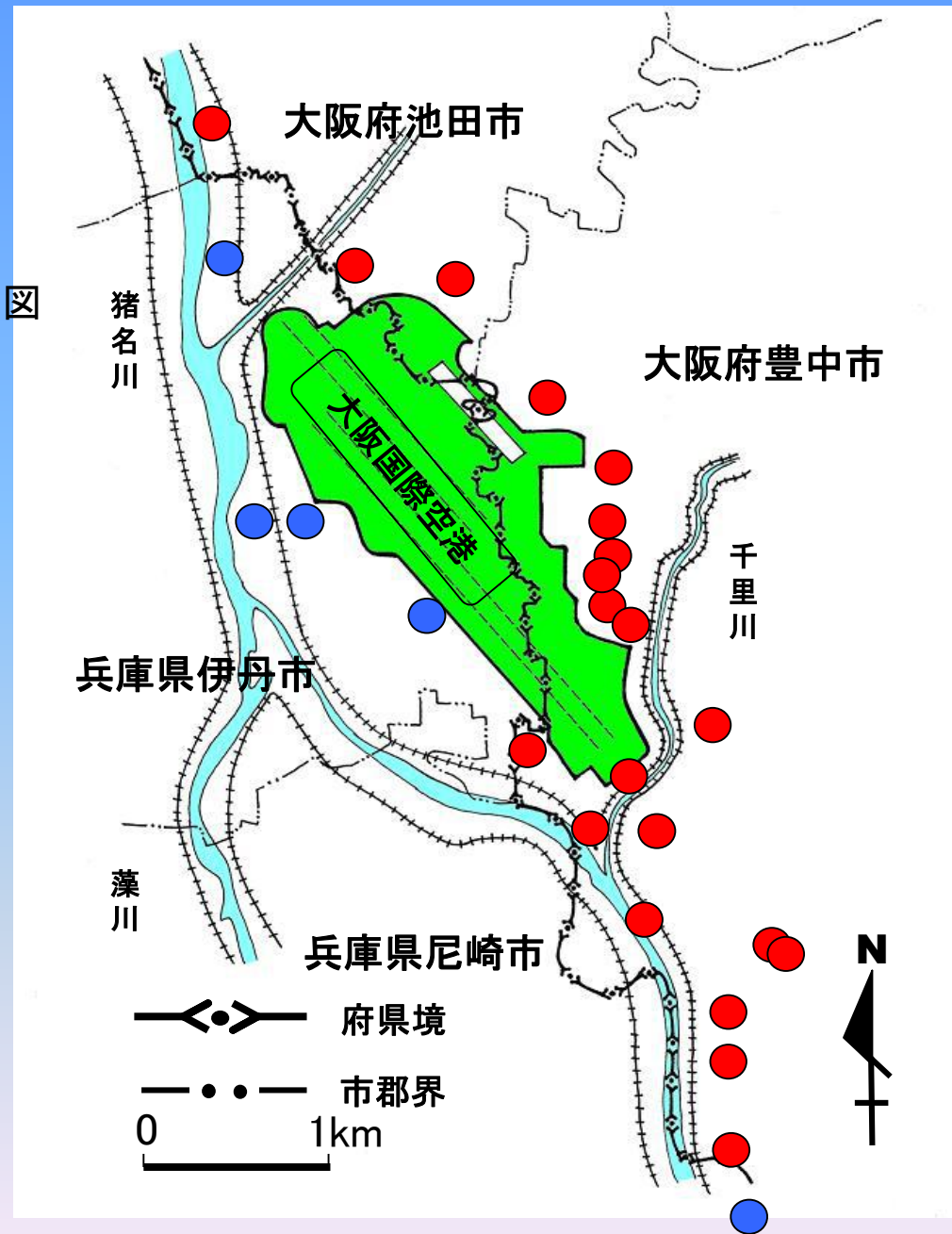


2003/ 8/ 4

大阪国際空港周辺における シルビアシジミの確認地点

Minohara et al. (2007) より作図

- : 大阪府側生息地
- : 兵庫県側生息地



絶滅寸前 大阪のギフチョウ



大阪府北部におけるギフチョウの現状

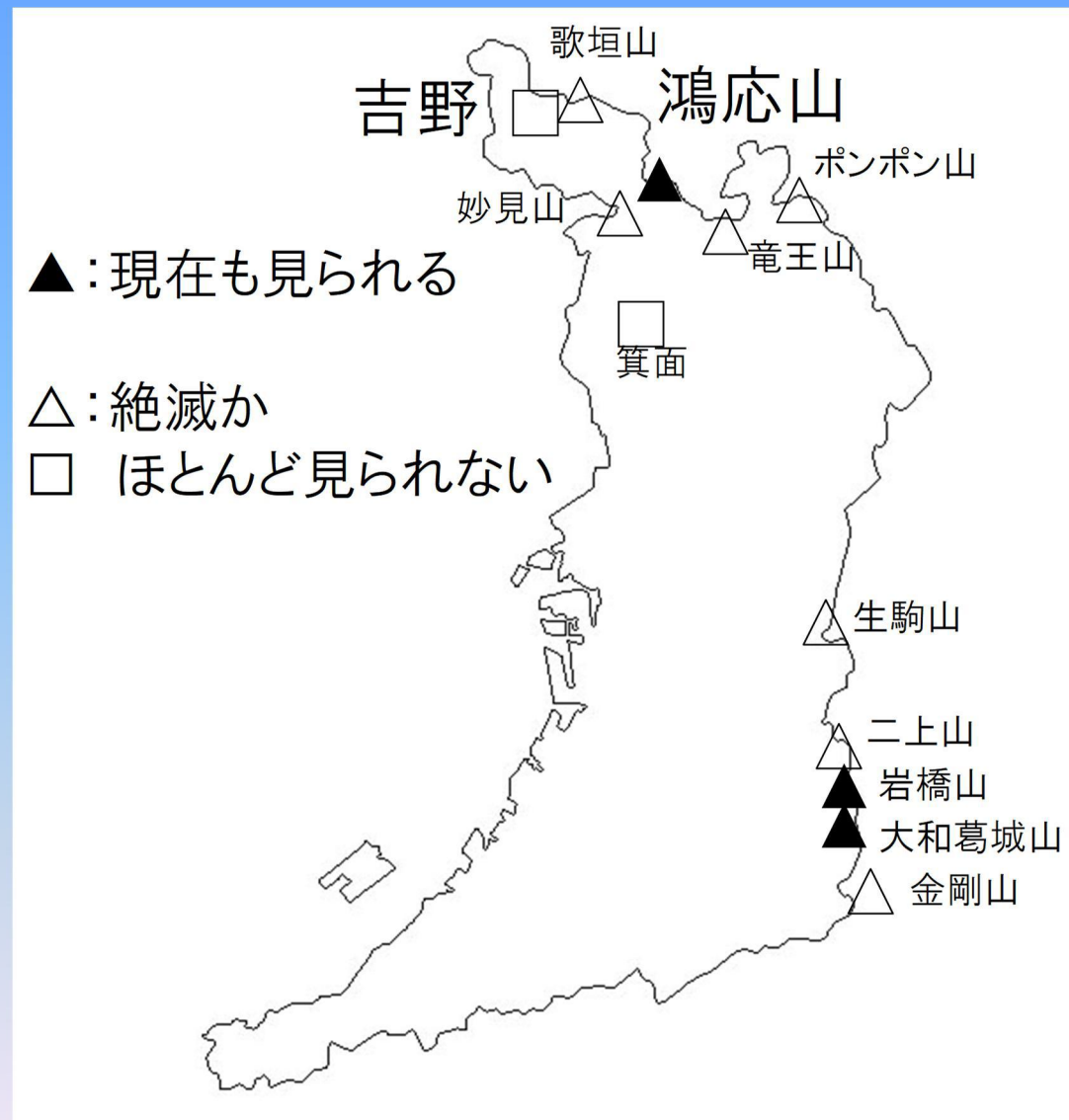
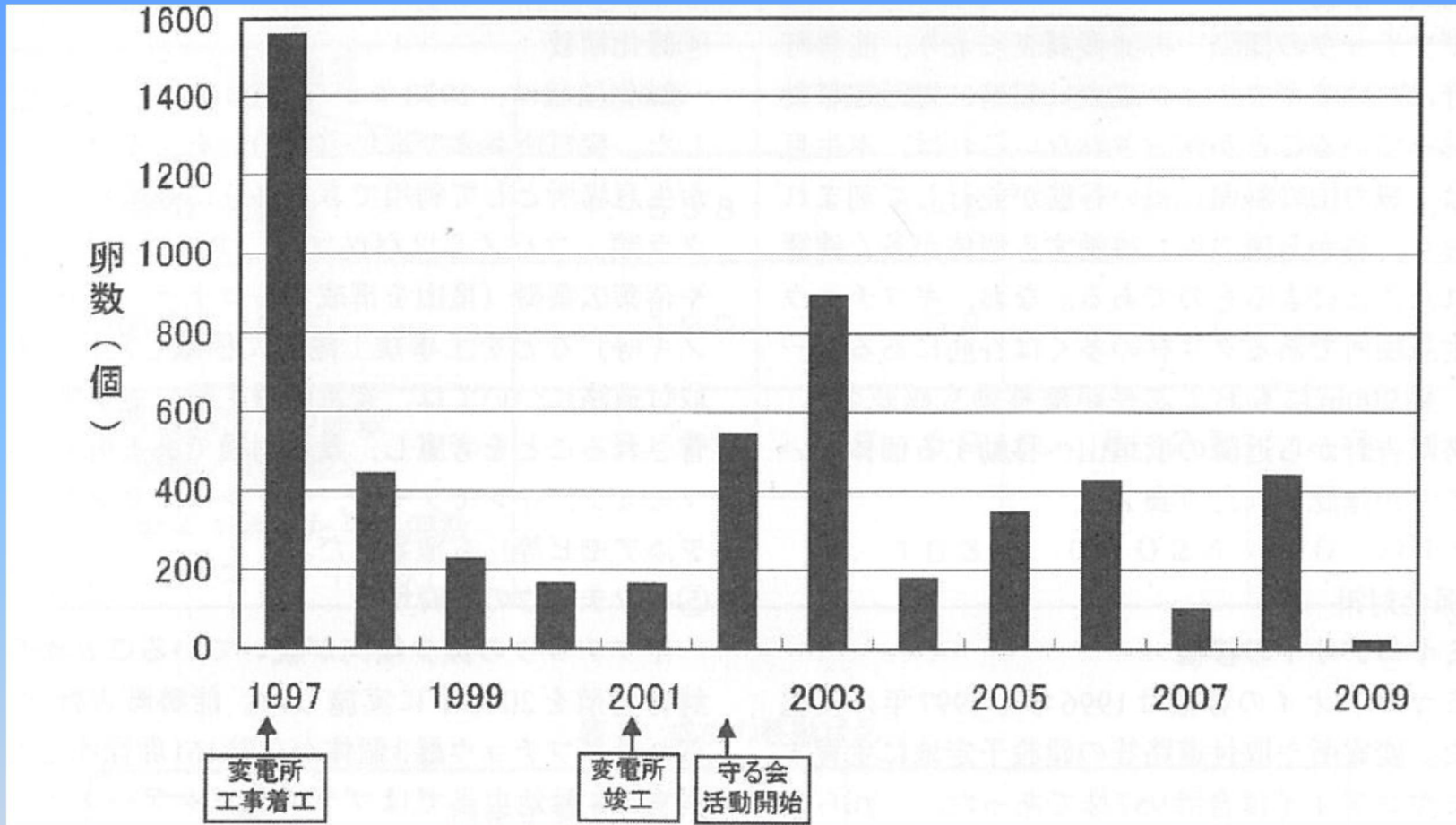


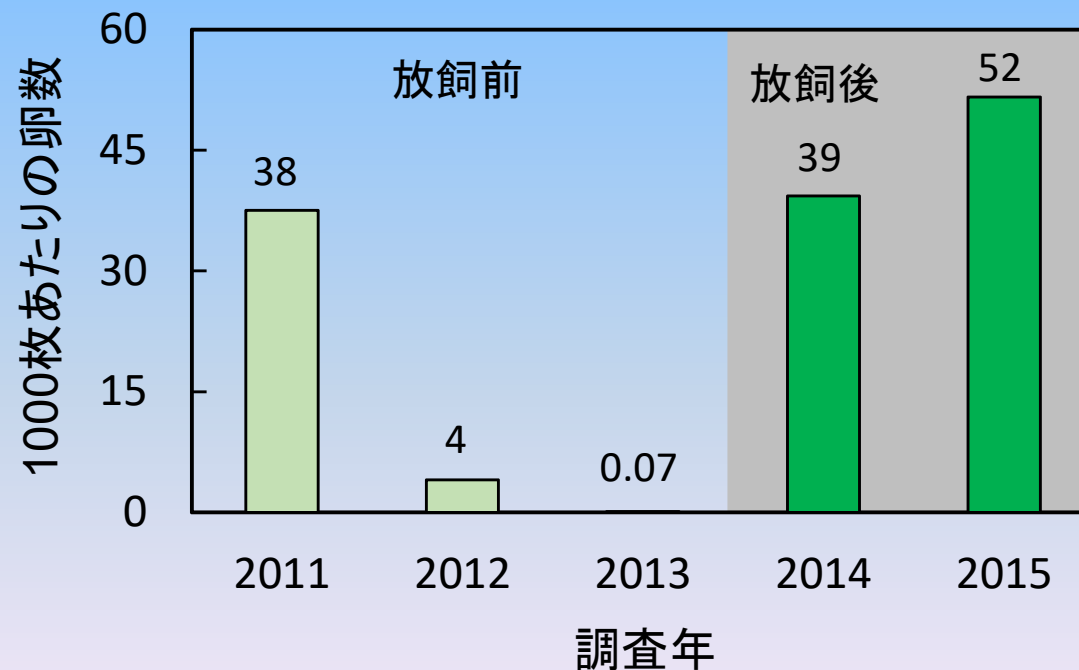
図1 大阪府周辺のギフチョウ分布図とその現状
(渡辺, 2013)より抜粋, 一部改変



大阪府能勢町吉野の生息地におけるギフチョウ卵数の推移
植田ほか(2010)昆虫と自然 より

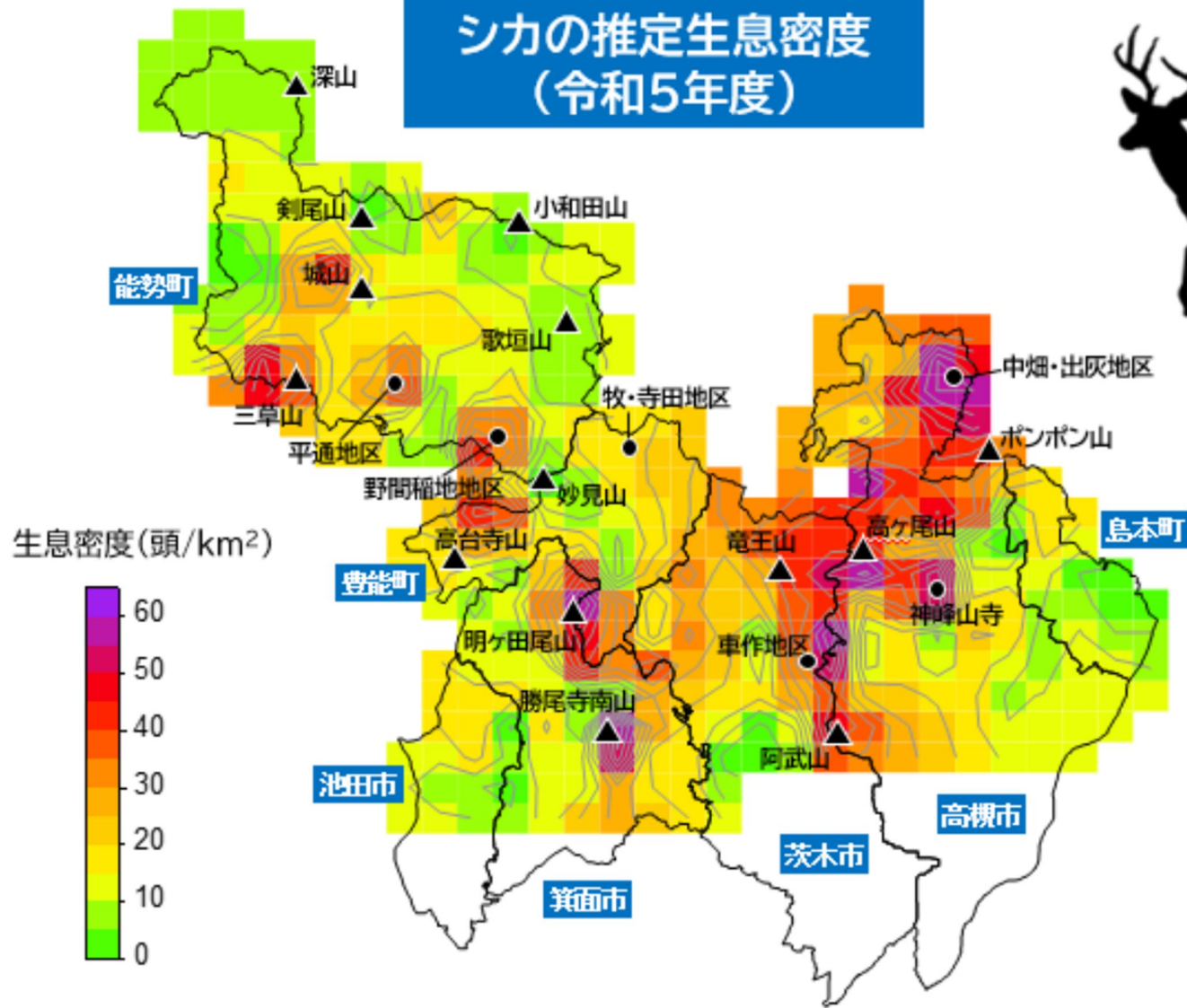
- ・放飼前はほぼ**絶滅状態** → 放飼後に**生息密度が回復**
→本種の保全に放飼は**有効**

鴻応山(K1とK2)における食草1000枚あたりの卵数の推移



2011～2012年については
吉村ほか(2015)から算出

シカの推定生息密度 (令和5年度)



大阪府ウェブサイトより

地黄湿地の生きもの



ハッチョウトンボ

能勢町生息地 ハッチョウトンボ個体数の変化

	地黄湿地	能勢町A	文献
1993		1	大阪昆虫同好会, 2010
1998	259		石井ほか, 1999
1999	86		大阪府立大学データ
2000	多数		大阪府立大学データ
2007		(居た)	
2009	0		
2012		1	
2013		2	
2014	(2)	0	
2015	(居た)		
2016	(居た)		
2017	(居た)	0	
2018			
2019		1	
2020	2	2	
2021	1	10	
2022	1	7	
2023	4	144	
2024	8	63	

地黄湿地の1998と1999は、複数調査日の合計数。その他は1日の最大数。

カッコ内は伝聞情報

能勢町Aは複数の小湿地の合計。2023年に数か所を新たに発見